

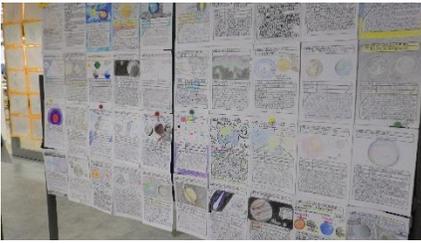
絆~Kizuna~

西東京市立ひばりが丘中学校
第3学年通信
令和6年3月8日(金)
第38号

すべてが力になっている

先週の土曜日に行われたひばり文化の日は、皆さんの一年間の学習の集大成となりました。運動会や合唱祭のように、結果が出る行事ではありませんが、習った技術や知識を駆使して作り上げた作品から刺激を受けたことと思います。理屈でなく、「これ、いい!」と感性が動かされることで、センスも磨かれる機会となったでしょう。高校に進学する場合は、文化祭という、さらにスケールが大きい行事となることが多いでしょう。文化祭に限らず、今まで学んだことや経験を生かしたひらめきと発想で、自分の学校の行事を盛り上げてください。





意見文発表会では、「3年生すごかった!」と1年生が興奮していたそうです。全て暗記し、ただ読むだけでなく、感情がこもった聞きやすい発表でした。圧巻です。皆さんも Let`s enjoy English!!



卒業式の練習が始まりました。～ 卒業まであと8日 ～

1回目の練習では當麻先生から心構えの話がありました。『楽しかった行事はそれぞれ違うけれど、最も大切な行事と言うと、「卒業式」です。』と當麻先生はおっしゃいました。今年は2年生も参列します。ひばり中の最上級生としていられる最後の日に、背中は何を語るか。保護者の方、来賓や地域の方、先生方など、支えてくれた方々にどのように感謝の思いを伝えるか。そして仲間と最後の日に、涙がこらえられないくらい最高の感動的な卒業式にするために、残りの時間を大切に過ごしていきましょう。

学年の先生のつぶやき ～岩元先生より～

新校舎で実施するひばりが丘中学校の卒業式は今年で3回目です。これまでの2回は新型コロナウイルスの影響があり、在校生の参列ができませんでした。今年度、君たちは後輩たちに最上級生としての姿を見せてきました。特に行事で見た姿は立派でした。運動会での一糸乱れぬ最高のソーラン節。合唱祭ではどのクラスも迫力のあるハーモニー。今、思い返しても格好良かったなと先生は思っています。そんな君たちだから、最後の卒業式ではどんな姿を見せてくれるのでしょうか。「在校生に見せることができよかった」と思える式を作り上げてほしいと思います。

卒業式当日は2年生しかいませんが、予行練習は全校生徒が入ります。この予行練習から最上級生としての立派な姿を見せてほしいと思っています。理由は、来年度の入学式は、新3年生(現2年生)は参列せず、新2年生(現1年生)が先輩として新入生を迎え入れます。つまり、1年生が先輩としてのお手本を見る機会は卒業式の予行練習しかありません。式に対する心構え、歌う姿勢などを1年生に見せて「高い壁」になりましょう。

一昨日の1回目の練習から、君たちは真剣に取り組んでいました。中には、卒業証書授与の返事の際に、當麻先生から「いいね～!」と返事を褒められる生徒もいました。残り7日間を有意義に過ごし、3/19(火)を素晴らしい1日にしましょう。